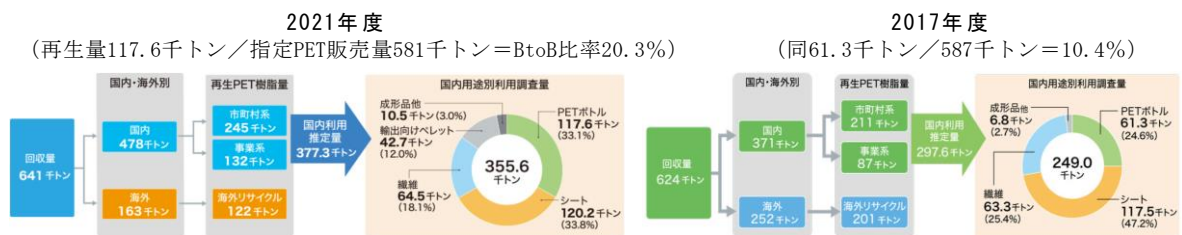


ペットボトルの資源循環は日本各所に浸透

◆北海道や四国などの自治体が「ボトルtoボトル（BtoB）」リサイクルを推進

北海道美瑛町・東神楽町・東川町とJEPLANは2023年8月、使用済みペットボトルの「ボトルtoボトル（BtoB）」リサイクルや住民の環境教育などで連携する協定を締結した。ペットボトルのリサイクルは従来、海外に輸出されたり、国内で繊維やシートに再生されることが多かったが、21年4月に全国清涼飲料連合会が「30年BtoB比率50%」を宣言したこともあり、国内でボトルに再生される量が増え、21年度のBtoB比率は20%台に高まった。JEPLANは、傘下のペトリファインテクノロジーが川崎でPET樹脂のケミカルリサイクル（CR）を行っており、3町で回収されたペットボトルは、石油由来PET樹脂と同等品質のものに再生される。



(資料) PETボトルリサイクル推進協議会「PETボトルリサイクル年次報告書」(2022年版/2018年版)

このほか、徳島県と県内11市町は23年7月、大塚製薬とBtoB推進協定を締結した。回収された使用済みペットボトルは豊田通商がペットボトル原料に再生し、大塚製薬が再生ペットボトル原料を用いてペットボトルを製造する。また、東大阪市と大東市は23年8月、サントリーや豊田通商などとBtoB推進協定を締結した。回収されたペットボトルは徳島と同じく豊田通商が再生原料とし、サントリーがペットボトルを製造する。

◆BtoBリサイクル工場が中部・西日本でも立ち上がる

豊田通商は20年7月、ウツミリサイクルシステムズなどとペットボトルの再資源化（BtoB）、飲料ボトル向けリサイクル原料を製造する豊通ペトリサイクルシステムズ（TRS）を設立している。20年以前は、BtoBリサイクル工場は関東にしかなかった。東海や関西での事業展開、適地を検討した結果、滋賀県日野町で生産能力4万トン／年の工場を22年10月に稼働させている。ここに、徳島からは

ハイライト

四国合同通運、大阪からは大栄環境が、回収されたペットボトルを運び込む。

東海地方では、協栄産業とJ&T環境の合弁会社・協栄J&T環境の西日本PETボトルMRセンターが、三重県津市で22年4月に稼働している。協栄産業はBtoBメカニカルリサイクル（MR）の先駆けで、MRされた高品質樹脂「MR-PET」は11年にサントリー「烏龍茶」ボトルに、12年にはキリン「生茶」に採用されている。協栄J&T環境には、セブン-イレブン店頭でのボトル回収に取り組むセブン&アイも資本参加している。協栄J&T環境は23年8月には、鈴鹿サーキット運営するホンダモビリティランドやコカ・コーラとのBtoBでの協働を発表している。

セブン&アイとヴェオリア・ジャパン、三井物産が20年4月に合弁で設立したのがサーキュラーペットで、BtoBのPETボトルリサイクル工場が岡山県津山市で23年度中に稼働する予定である。22年8月にはJR西日本と使用済みペットボトルを工場に供給することで合意している。

関西では23年中に、遠東石塚グリーンペットの姫路工場も立ち上がる予定である。遠東石塚は茨城県境町にBtoBボトル生産能力8.5万トン／年の東京工場を持っており、姫路工場は年産10万トンで西日本の拠点となる。

ペットボトルBtoBリサイクル工場の概要

会社	所在地	年間生産能力	稼働時期
協栄産業	栃木県小山市	5万トン	12年 専用工場竣工
遠東石塚グリーンペット	茨城県境町	8.5万トン	15年 設備稼働
JEPLAN／ペトリファインテクノロジー	神奈川県川崎市	2万トン	21年10月 稼働（CR）
協栄J&T環境	三重県津市	4.5万トン	22年4月 全面商業運転
豊通ペトリサイクルシステムズ	滋賀県日野町	4万トン	22年10月 商業生産開始
遠東石塚グリーンペット	兵庫県姫路市	10万トン	23年中 稼働予定
サーキュラーペット	岡山県津山市	2.5万トン	23年度中 稼働予定

（資料）各社ウェブサイト、プレスリリース等よりARC作成

◆BtoBリサイクルは、清涼飲料から調味料にも広がる

キューピーは23年7月、ドレッシング製品に再生PET樹脂を100%使用したボトルを採用すると発表した。21年6月に再生PET樹脂を約30%含むボトルを採用していたが、今回、国内調味料としては初めて再生PET樹脂100%ボトルを採用する。キューピーとMizkan、キッコーマン、日清オイリオの4社は22年5月に、MRペットボトルが液状調味料や食用油の容器として安全に使用できると確認していた。

また、Mizkanは23年6月、創業の地である愛知県半田市とペットボトルの水平リサイクルに関する協定書を締結した。

清涼飲料が先導したBtoBリサイクルは、各所に浸透してきた。【長谷川雅史】